

取引は約15年前からスタートし現在、コープネット、ユーコープ、東北サ
ンネット、東海コープの
各事業連合や関東、東北
中部の生協に納入。店舗
が約7割、宅配が約3割
の売り上げ構成になっ
ている。

人気商品は、「牛乳と卵のカスタード&ホイップシュー」や「牛乳と卵の手巻きロール・ミルク」(同360円)など。
「牛乳と卵のカスタード&ホイップシュー」は風味豊かなカスタードとホイップクリームの2層タイプ。コープネットとユーコープが会員生協店舗で小売りしているほか、毎月1回、5
個箱詰めを宅配企画に採用。コープネットの直近企画(4月4回)では約1万箱の注文となった。

「牛乳と卵の手巻きロール・ミルク」は、ふんわりとした生地でミルククリームをやさしく手で巻き上げ

の宅配企画で毎回平均1万本の注文となつている。
直近では、コープネットの5月4回で「手巻きロールケーキ・ダーズリ」(希望小売価格360円)が採用されたのに続き、6月3回「バナナクリームワッフル」(100円均一・コーナー掲載予定)、同5回「牛乳と卵の手巻きロール・生チヨコ」(同360円)などの採用が決まっている。ロールケーキは約1万本の販売と見られ、ワッフルは3万~4万個の販売を見込んでいる。
同社では「ベシック(定番) 商品の企画頻度アップと同時に、今後も売り上げに貢献できる商品の提案を積極的に行つていきたい」(営業部第2課5係・大橋定道係長)と話している。

TOKYO X Association

「トウキョウX」一段の生産・普及へ

平成22年度事業計画を採択

ブランド豚「TOKYO X」の生産者・流通者団体TOKYO X Association(事務局・東京都立川市)はこのほど、都内で総会を開き、積極的な認知活動や生産拡大委員会の実施などを柱とする平成22年度事業計画を採択した。



冒頭あいさつに立った植村会長

北京黒豚、パークシャ1種、デュロック種を交配させて改良したトウキョウXは、上質の赤身と脂肪がほどよく混ざった肉質が特徴のブランド

豚。近年、料理番組やメディアで度々取り上げられ認知度が高まり、生産消費が拡大している。

冒頭あいさつに立った植村光一郎会長は「昨年度の出荷頭数は8680頭。今年度は9500頭を目標に取り組んでいく。生産者のこだわりや思い、商品の価値を伝え、より一層の普及拡大を図っていく」と、平成22年度でのさらなる飛躍へ意欲を見せた。

また、来賓の東京都産業労働局農林水産部農業振興事務所・大川篤通・販売拡大に向け積極的振興課長は、「昨年度の7380頭から1年で1300頭も増加した。また『トウキョウX』の知名度は抜群に高く、改めてTOKYO X Associationの取り組みに敬意を表す。今後ますますの活躍を期待する」と祝辞を述べた。

平成22年度は、積極的な認知活動をはじめ、「トウキョウX」を通しての食育事業やアグリネイチャー事業への参加、ツイッターによる情報発信、農場HACCPの研究會参加など、生産・流通・販売拡大に向け積極的に事業を展開していく方針。

ナガノトマトは、世界的に権威のある品質コンクール「2010年度モンドセレクション」において、出品したトマトジュース2品で金賞を受賞した。

受賞商品は、独自ブランドトマト「愛果(まなか)」を100%使用したストレートタイプのトマトジュース「信州生ま

また、3年連続金賞以上の受賞を対象に永続的に使用できる「ハイ・インターナショナル・クオリティ・トロフィー」も獲得。同トロフィー受賞は、一昨年の「特選なめ茸茶漬」(180g)、昨年の「特選なめ茸う

ドル(本社・東京都千代田区)は、食べきりサイズの「スウィーティオバナナ ミニサイズ」(写真)を6月1日、全国の量販店で発売した。

同・バナナは、昼夜の寒暖差があるフィリピン産の海拔500m以上の高知で栽培された甘さ追求の逸品。発売したのは、バナナの幹の末端部分のみから取れる希少価値の高

ドル「食べきりサイズ発売『スウィーティオバナナ』

